

令和6年 8月 6日

船工第251号

会 員 各 位

一般社団法人日本船用工業会

専務理事 澤山 健一

(公印省略)

中東 OSV & Maritime Business Matching Forum への参加募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当会の事業運営につきましては、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて当会では日本財団助成事業として Offshore Support Vessel 及び一般商船をターゲットとした「OSV & Maritime Business Matching Forum」を 2025年1月28日(火) にアラブ首長国連邦 Abu Dhabi 市内で開催いたします。

現在、世界的なエネルギー需要や貨物取扱量が増している状況下、中東の洋上エネルギー開発も活況な状況であるため、Offshore Support Vessel(OSV)が重要な役割を担っております。中でも世界有数の OSV 保有国である UAE の OSV 稼働状況は活況であり、同時に貨物やエネルギーを運搬する一般商船も多く行き交うエリアにもなっております。

このような背景の下、UAE 及びその周辺の GCC 諸国のオフショア、一般商船関係者を招待し、新市場(オフショア)への参入促進等を目的に、当 OSV & Maritime Business Matching Forum を開催いたします。

つきましては、当 Forum へ参加をご希望の方は、別紙1 参加申込書に必要事項をご記入の上、9月27日(金)までに、下記担当者宛に E-mail にてお申し込み下さいますよう、よろしくお願い致します。

敬具

【添付書類：別紙1 参加申込書】

記

1. 開催日時:2025年1月28日(火)

商談会:11:00 - 16:00を想定

テクニカルプレゼンテーション:商談会中に実施(1社10分程度を想定)

※ テクニカルプレゼンテーションの持ち時間帯は参加企業数に応じて変動する場合がございます。

※ 商談会及びレセプション開催時は軽食・飲料を提供致します。

2. 開催場所:アラブ首長国連邦 Abu Dhabi 市内イベント会場またはホテルを予定

3. 実施概要(案):

- 1) 中東のOSV、一般商船の船主、設計、造船所等の海事関係者を対象として実施
- 2) ADNOC & S等のGCC地域の有力船主等へ幅広く周知や来場を依頼して実施
- 3) 会場に各出展者の商談ブースの設置し、来場者との商談を実施
- 4) 開催中に参加企業によるプレゼンテーションを実施
- 5) 商談会及びレセプションは軽食・飲料を提供し、来場者との交流を実施

4. 参加費用:

セミナー参加費: **¥380,000円 / 1社**

(含まれるもの)商談ブース費用、スタンドバナー印刷・製作費、会場飲食物

(含まれないもの)現地渡航・滞在費、スタンドバナーデザイン費等

※スタンドバナーデザイン:各社提供。当会では印刷、製作のみ対応いたします。

※参加費はセミナー終了後に各社ご担当者様に請求書をお送りいたします。

5. 申込方法:2024年9月27日(金)までに別添参加申込書を下記担当者までメールにてお送りください。

尚、出展者の方を対象として、下記の通り事前参加者会議を実施いたします。

【事前参加者会議】※予定より事前説明会が早まる可能性がございますが、日時変更があった場合は出展企業様にご連絡致します。

開催日時:2024年11月6日(水)14:00~15:00

開催形式:オンライン開催(Microsoft Teams)

開催内容:セミナー実施概要説明/商談ブース位置決め等

※会議資料及びご招待URL等はお申込者の方に別途ご案内致します。

申込書送付先: 一般社団法人 日本船用工業会 業務部 高土 Email: takado@jsmea.or.jp

問い合わせ先: 一般社団法人 日本船用工業会 業務部 石田・水谷

Email: ishida@jsmea.or.jp, mizutani@jsmea.or.jp

電話: 03-3502-2041

中東におけるオフショア支援船 (OSV) の市場動向調査

① 下記 URL から資料を閲覧することが可能です。

(資料 URL)

[de7eca6012cf937901041cfc155657af5c0b1196.pdf \(jstra.jp\)](https://www.jstra.jp/de7eca6012cf937901041cfc155657af5c0b1196.pdf)



中東におけるオフショア支援船 (OSV) の 市場動向調査

2023年3月

一般社団法人 日本船用工業会
一般財団法人 日本船舶技術研究協会

② ADNOC Fleet

※2024年1月時点の物であり、若干の隻数の誤差がございます。ご参考まで



状況（中東におけるオフショア支援船（OSV）の市場動向調査より抜粋）

2021年以降の中東における探査・生産（E&P）等の投資はOSVセクターにも好影響を残している。

UAE、サウジアラビア、カタールでのジャッキアップの増強がOSVの稼働率上昇に繋がっている。特にAHTS、Accommodation Vessel、PSV、等の稼働率が増加。

中東のOSV船主と運航会社は、2022年に稼働率と傭船料の上昇を目の当たりにし、この傾向は続く予想されている。

市場の勢いと稼働率に伴い、UAEのADNOC L&SとSafeen、サウジアラビアのRawabiなど、複数の主要企業からのOSVの大量投入も行われた。

Westwood Global Energy Groupは、市場でOSV不足が生じると予測しており、2030年までにOSVの新造がなければ、2020年代後半以降、現在のトン数では市場の要求を満たせなくなると想定している。

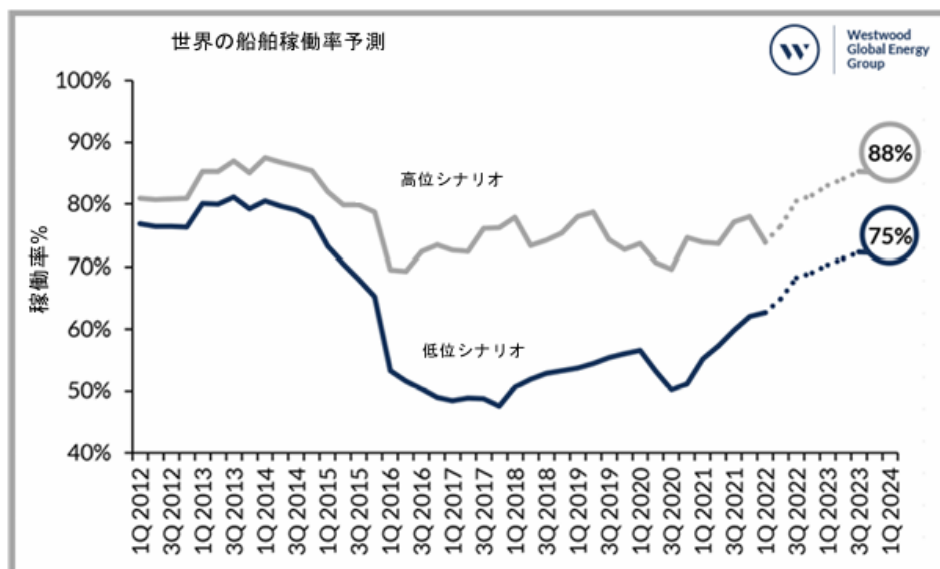
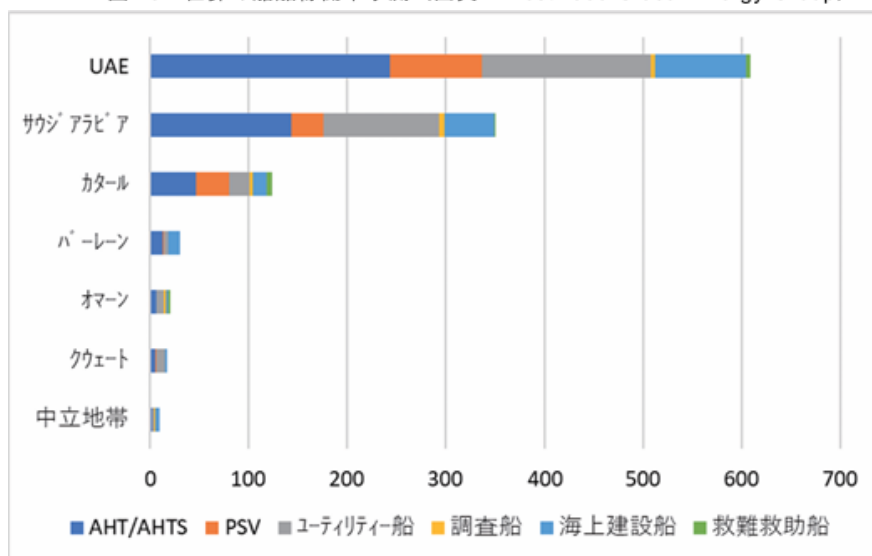


図 26：世界の船舶稼働率予測（出典：Westwood Global Energy Group）



出典：World Energy Reports, Oct 2020